

## 2023年 WDSF世界選手権 ジュニアⅡラテン遠征報告

選手強化部長 竹下 次郎

### 1. 日程

10月27日（金）往路

エールフランス航空にて羽田空港 → パリ経由 → ポルトガル・ポルト空港 → バスで約2時間、バゴス市オフィシャルホテル到着

10月30日（月）復路

バゴス市 → ポルト空港 → パリ経由 → 31日 羽田空港到着

### 2. 競技日程

10月28日（土）14時30分～24時10分

WDSF 世界選手権ジュニアⅡラテン

### 3. 場所：ポルトガル バゴス市（写真①）

### 4. チーム・ジャパン

代表選手：藤枝大河・宮澤めぐ、原澤英大・竹之内梨音  
帯同役員：竹下次郎

同行：藤枝健司、宮澤初恵、原澤麻貴子、竹之内智美

### 5. 宿泊：Hotel Herdade do Lago Real（ポルト空港からバスで約2時間）

### 6. 会場：Municipal Pavilion of Vagos

### 7. 報告

#### ① 事前準備

世界選手権等の帯同役員を務めるのは、今回で10回目となりますが、コロナ禍のため4年ぶりとなり、自ら作成したJDSF 帯同役員マニュアルを改めて確認しながら、業務を進めることとなりました。

最初に、特筆しなければいけないのが、世界選手権主催者のポルトガルダンススポーツ連盟 Mr. André Vieiraにはとても感謝しております。問合せメールを何回しても、瞬時に返事をくださるといっても真面目な方でした。

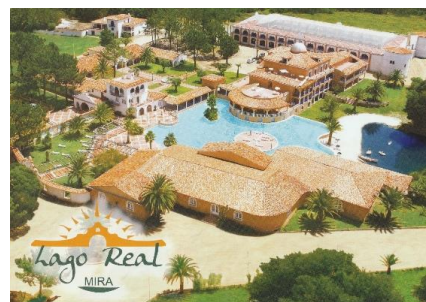
また、今回は現地でのホテル代等を自ら海外送金する必要があり、和田知世さん（シニアⅠラテン世界選手権日本代表）に Web での送金方法を教えて頂き、とても助かりました。

#### ② 現地到着

約13時間の飛行後午前8時パリ空港到着、トランジットに6時間、ポルト空港まで飛行1時間半、そして空港で1時間程待って、100km離れたバゴス市までバスで移動という、ほぼ24時間の移動となりました。



バゴス市のオフィシャルホテル Herdade do Lago Real (写真②) は、まるでリゾートホテルのようで、特にフロントの方がとても親切なのが印象に残りました。ルームキーを渡されてから、フロント係が部屋まで案内してくれるという海外のホテルでこのような「おもてなし」を受けたのは、初めてだったのでとても感動しました。



ポルトガルでは、10月は雨の日が多いというのは聞いていましたが、滞在した3日間全て雨模様でした。

めぐと梨音はホテルに到着後夕食を取る間もなく、明日の世界選手権出場に向けヘアセットをするため、タクシーで指定の場所に行き、結局午後11時頃ホテルに保護者と一緒に戻るという、とてもタイトな状況でした。

③ 会場 Municipal Pavilion of Vagos (写真③) へ移動

会場でのメイクアップを予約していたということから、めぐと梨音は、午前5時半にホテルを出発し、会場へ向かいました。きっと3~4時間の睡眠だったことでしょう。



会場は、更衣室が6ヵ所用意されており、選手も余裕を持って着替えることができました。背番号や予約席券をもらう場所もはっきりしており、各スタッフの対応もとても親切で、ポルトガル人の優しさを肌で感じました。

特に、予約席券を受取りに行った時に「Takeshita」とスタッフに名前を告げると「おー！日本から来たTakeshitaだね。私はよく知っているよ！」と言われ、嬉しくて泣きそうになりました！

④ 世界選手権ジュニアIIラテン

セレモニー開始14時30分 競技開始15時 競技終了24時10分

競技開始前に高い所からフロア全体を俯瞰し、自分たちが最高のパフォーマンスを発揮して踊っているイメージを脳に覚えさせる。大河と英大を2階観客席の所に連れて行き、緊張している心を落ち着かせるため魔法をかけた。(写真④)

日本の競技会と異なり、海外では一次予選のヒート割が開始直前までモニターに掲示されず、待っている間の久しぶりのドキドキ感を楽しんだ。そしてヒート割が掲示されたら、直ぐに入場口まで走って大河と英大にメモを渡す。海外でないと味わえない久しぶりのハラハラ感だ！



いよいよ一次予選開始、まずはサンバ、フロアに進む二人に背中を押すように声をかける。

『大河、めぐ、思いっきり楽しんで来い！』

世界選手権独特の大歓声の中でも、いつも通りのサンバを踊る大河とめぐ。

日頃の練習の結果をしっかりと見せる、さすがに素晴らしい！

『英大、梨音、持ってる力をすべて出しきって来い！』

負傷している膝の痛みを忘れさせるエネルギッシュなサンバ！

よし、その調子だ！英大、梨音、頑張れ！

久しぶりの世界選手権に彼らと一緒に楽しんでいる自分がいた。

## ⑤ 競技結果

Final

1位 キプロス

Ivan Marynich - Petrova Melaniia

2位 ルーマニア

Marius-Tiberiu Padurean - Adelina Stanciu

3位 ラトビア

Jegors Prokins - Polina Karimova

4位 ドイツ

Nicolas Valentin Denius - Xenia Remmele

5位 スペイン

Maddox Loevenhardt - Sara Coman

6位 ドイツ

Julian Holzmann - Yeva Liermontova

59-62位 藤枝大河・宮澤めぐ組（写真⑤）、原澤英大・竹之内梨音組（写真⑥）



## ⑥ 未来へつなげて

競技終了後、大河、めぐ、英大、梨音と一緒に、未来につなげる話し合いをした。

「今回の世界選手権を踊って、どんなことを感じたか」

「自分たちの踊りには、何がこれから必要か」

「今後自分たちは、どのように練習をしたらよいか」

体力的にも、技術的にも、海外選手との間には高い壁があった。しかしこの高い壁の向こうには、更に輝いた大河、めぐ、英大、梨音がいるだろう。

#### ⑦ エピローグ

今回初めての世界選手権出場の大河・めぐ組、そして2回目出場の英大・梨音組ともに、第3ラウンドへのアップは叶わなかったが、世界の風を受け、自分たちの踊りと体力を改めて見直すチャンスを得たことが、彼らが更に進化していくきっかけとなることを期待している。そして、来年の世界選手権も一緒に行こうと約束した。



ジュニアⅡチーム・ジャパン

\* 翌日の10月29日に世界選手権シニアⅠラテンが開催されました。

私たちジュニアⅡメンバーは、シニアⅠラテン日本代表の押川慧悟・和田知世組、石田茂之・矢野美帆子組、蜷川博信・浅田舞組の3組への大応援を行い、世界選手権会場を大いに盛りあげました。特にTBS金スマのカメラマンが会場を撮影しており、海外選手もかなり張り切って踊っている感じでした。

昨年の世界選手権で4位入賞した押川・和田組も今回は第4ラウンド（最終予選）までとなり、ポルトガル世界選手権は終了しました。

\* 競技結果

13位 押川・和田組、23位 石田・矢野組、34位 蜷川・浅田組



チームジャパン全員集合